



平成 27 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 亀田製菓株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 佐藤 勇
(コード番号 2220 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 藤崎 哲也
(TEL 025-382-2111)

亀田製菓グループ “ミッション・ビジョン”及び “中期経営計画（2015－2017）”策定に関するお知らせ

当社は、亀田製菓グループ “ミッション・ビジョン”及び中期経営計画（2015－2017）を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 亀田製菓グループ “ミッション・ビジョン”の策定

当社グループは、中期経営計画ビジョンである「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けて世界米菓市場において事業基盤の構築に取り組んでまいりました。これにより、業容が拡大し、グローバル化も一層進展したことから、当社を取り巻くステークホルダーや事業ドメインも多様化してまいりました。このような状況下、グループ全社員が一丸となって更なる飛躍を目指すためには、当社の目指す姿・方向性をグループ・ミッション・ビジョンとして改めて明示することが必要と考えました。当社は新たなグループ・ミッション・ビジョンのもと、米菓で培った技術・知見を競争力の源泉として更なる企業価値の向上を目指してまいります。

亀田製菓グループの目指す姿：“グローバル・フード・カンパニー”

【グローバル・フード・カンパニーの具体像：ビジョン】

米菓で培った伝統の技を革新し、各地の食文化と調和することを通じて、
世界の人々に愛されるブランドを目指します

【グローバル・フード・カンパニーとして果たすべき使命：ミッション】

私たちは、自然の恵みを活かし、「健康」「おいしさ」「感動」を創造します
私たちは、世界の人々の生活に喜びと潤いをお届けし、より豊かな社会に貢献します

2. 中期経営計画（2015－2017）の策定

当社グループは2015年度からの3年間を、中期経営計画ビジョンである「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた道筋を盤石なものとする重要期間と位置付けております。今中期経営計画期間（2015－2017）の経営環境はお客様の価値観が一層多様化し、売場、調達環境も激しく変化するなど一層厳しさが増すものと想定しております。このような環境下、海外事業と新規事業を中心とした「成長の加速」、米菓事業のブランド集約及び原価改善などによる「構造改革」、そしてこれらの取り組みを支える「経営基盤の強化」を戦略の柱とし、厳しさが増す経営環境を乗り越え更なる発展を目指してまいります。

【中期経営計画の枠組み】

■「成長の加速」

- ✓ グローバル展開による飛躍的成長
 - ・ Mary's Gone Crackers, Inc.を核とした世界的に広がる健康志向需要の捕捉
 - ・ M&A、提携を活用したグローバル・ネットワークの構築
 - ・ 国内外シナジーの追求
- ✓ コア技術展開による高付加価値商品の開発と新市場の開拓

■「構造改革」

- ✓ 国内米菓事業の構造改革
 - ・ ブランド価値向上によるマージンの大幅な向上（製造原価低減、販売効率改善など）
 - ・ ブランド集約と重点化による強力なブランドポートフォリオ再構築
- ✓ 事業ポートフォリオの最適化
 - ・ 投資管理の徹底とポートフォリオの定期的見直し
 - ・ グループ間シナジーの極大化

■「経営基盤の強化」

- ✓ グローバル人材育成の加速
- ✓ グローバル化に対応したガバナンス体制の進化
- ✓ お米に係る基礎研究強化によるイノベーション創出能力の向上（お米研究所のコーポレートラボ化検討）

【経営指標】

(単位：百万円)

	2014年度実績	2017年度目標	対2014年度差	CAGR
売上高	94,849	108,000	13,151	4.4%
営業利益	4,032	7,560	3,528	23.3%
営業利益率	4.3%	7.0%	2.7%	—
EBITDA	8,637	13,676	5,039	16.6%
EBITDAマージン	9.1%	12.7%	3.6%	—
ROE	8.3%	10.0%	1.7%	—

設備投資額 (2015-2017累計)	28,000
------------------------	--------

内容の詳細は、同時に開示しております「亀田製菓グループ中期経営計画 2015-2017（説明資料）」をご覧くださいませよう、お願い致します。

以上